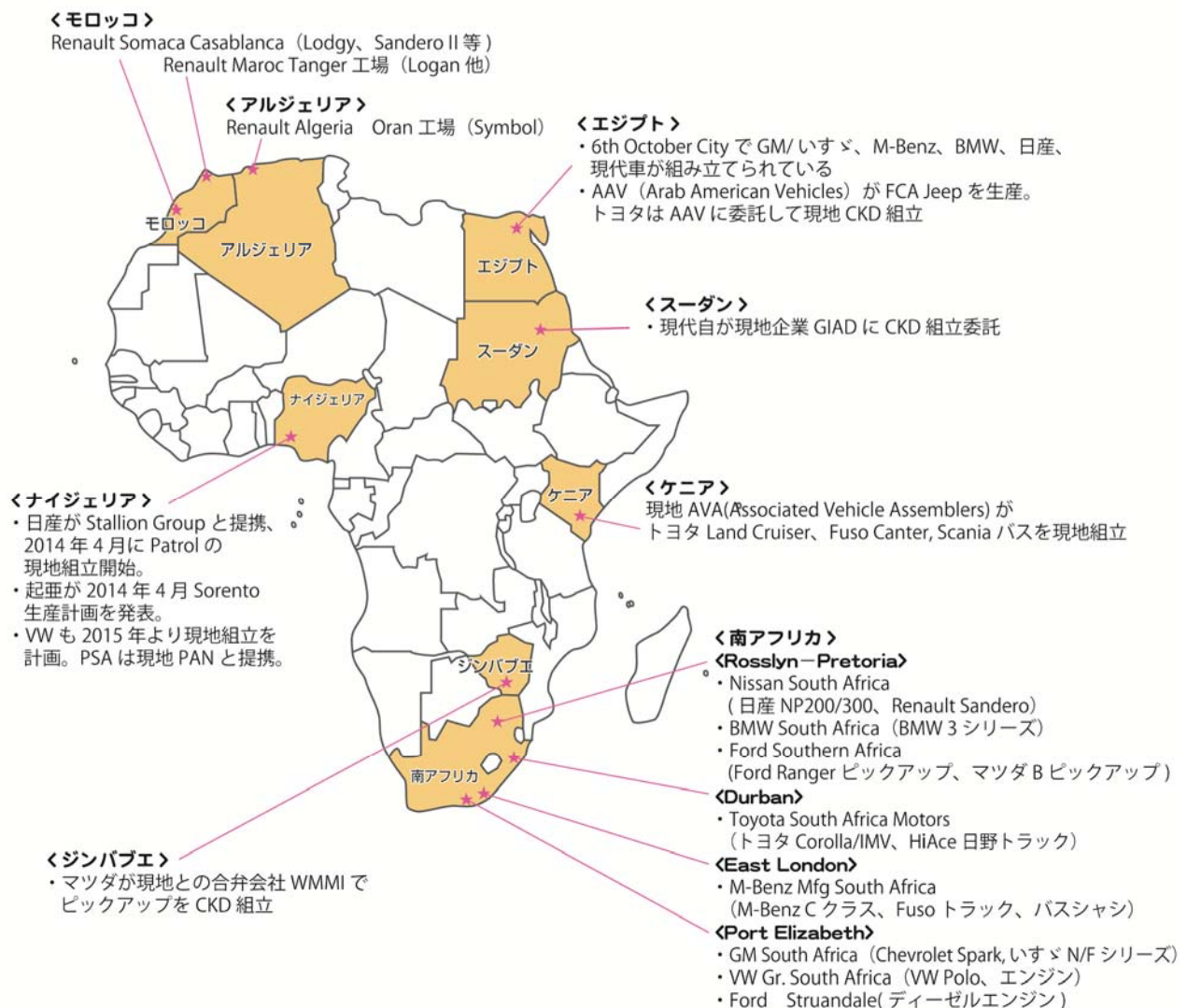


# アフリカ自動車産業 輸出ハブ拠点化で産業基盤構築を図る

アフリカの自動車産業は、市場形成と同様、大陸の北端と南端の2極で発展してきた。アフリカ随一の経済大国である南アフリカ、その南アを追うエジプト、そしてマグレブと呼ばれる地中海沿岸のモロッコやアルジェリアが自動車産業の発展を牽引している。それぞれ、国内の自動車産業育成策を推進し、一定の成長を遂げてきた。南アフリカは EU との貿易協定を活用して、EU をはじめとする先進国向けの輸出生産によって自動車産業振興を図り、周辺地域国向けにも供給、地域ハブとしての基盤も築きつつある。モロッコは低コストのワイヤーハーネス組付拠点としての自動車産業振興策が奏功、新たに Renault が完成車組立工場を立ち上げ、EU 向けの輸出拠点としての育成を図っている。

対してエジプトは貿易政策で市場開放を進める一方で、輸出拠点としての産業育成策が不在となっており、国内の自動車産業基盤強化には成功していない。安定した内需を狙い、GM、トヨタ、日産、BMW、M-Benz などが乗用車や商用車を現地組立しているが、多くが現地企業への組立委託となっている。現地

## 【アフリカの主要自動車生産拠点】



注)CKD 組立拠点、現地委託拠点を含む。

(FOURIN)

組立事業は中国企業も事業機会を狙っており、エジプトをはじめ 11 か国で現地企業を活用した CKD 組立事業を模索している。

そうした中、ナイジェリアは輸出ハブ化を狙う自動車産業政策を 2014 年に発表した。中長期的には南アフリカを凌ぐ経済大国としての成長が期待されるため、各社が現地進出の機会をうかがっている。だが 2015 年に大統領選を経て政権交代したため、新政権の今後の政策方針の出方が注目される。

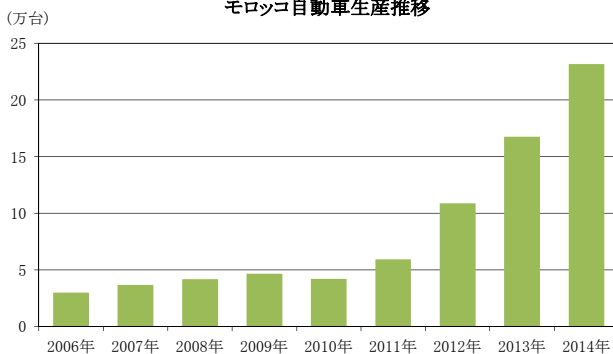
アフリカは十分な地域経済圏が構築されておらず、生産規模が最大の生産国である南アフリカでも 50 万台にとどまり、部品生産の裾野が小さいなどの構造的問題を抱えている。近年ではインドからの低価格車輸入攻勢もある。今後どのような形で地域ハブとしての自動車産業基盤を育成していくか、政府の政策動向が注目される。

### 【アフリカの自動車産業動向】

#### ◀モロッコ▶

- Renault が既存拠点の SOMACA に加え、新設した Tanger 工場 で Logan ファミリーの乗用車および派生車を生産。EU との貿易協定を活用して輸出、周辺国向けにも出荷。生産能力 50 万台/年を計画。輸出拠点化策が奏功すれば南アに匹敵する組立拠点になる。
- 政府が工業化戦略を推進、工業団地を整備して自動車産業の投資誘致を呼びかけた。EU (スペイン、フランスなど南欧) 向けの低コスト供給拠点としてワイヤーハーネス生産が行われている。部品産業では Renault 対応でシートメーカーが進出した。

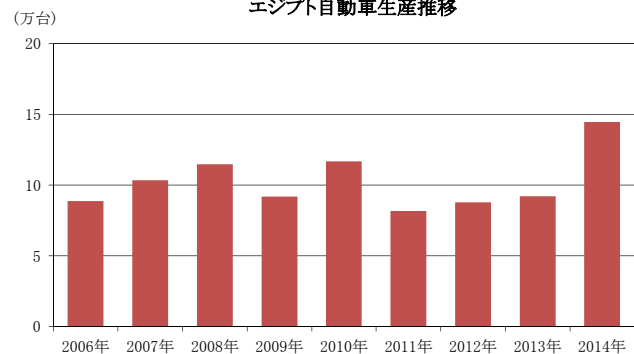
モロッコ自動車生産推移



#### ◀エジプト▶

- 政権崩壊後の縮小から 2014 年に内需回復、GM (Chevrolet)、日産、現代/起亜、トヨタが享受した。
- EU・トルコとの貿易協定によって市場を開放することが決まっている。自動車産業保護育成策は部分的な成功にとどまっており、現地ディストリビューターが KD 組立を行っている。
- 吉利、奇瑞など小型廉価乗用車やバス、商用車など多数の中国車が現地組立あるいは輸入販売されており、中国系のシェアは 12.7%(2014 年)。

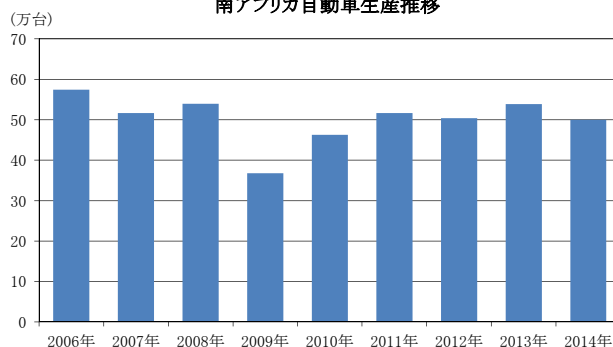
エジプト自動車生産推移



#### ◀南アフリカ▶

- 長年の自動車産業保護育成策から、アフリカ最大の自動車産業を擁す。米国 (GM、Ford)、ドイツ (Daimler、BMW、VW)、日本 (トヨタ、日産) など世界の主要メーカーが現地生産。年間 50 万台規模生産されている。現代自が現地組立に参入、2014 年 8 月トラックの SKD 生産を開始。
- 右ハンドル車市場を主として、欧州 (英)、日本など先進国市場向けに輸出する実績を持つ。主にドイツメーカーが輸出。トヨタ、Ford などは地域ハブとしてアフリカ向けに商用車を輸出。
- 輸出ハブ育成方針の一方で、輸入も認めており、国内市場での販売車が EU やインド等から輸入されている。

南アフリカ自動車生産推移



#### ◀アルジェリア▶

- 国内市場拡大を機に、Renault がアルジェリア政府と合併で、乗用車の CKD 組立事業を開始。
- 2014 年 11 月に地中海沿岸の Oran 工場 で廉価乗用車 Logan II 生産を開始。Renault によると 2014 年に 1,000 台生産。当初年 2.5 万台規模を計画、中期的に 10 万台を視野。

#### ◀ナイジェリア▶

- 輸出ハブ化を狙う自動車産業育成策を 2013 年 10 月に発表、輸入関税を 70% に引き上げ、産業振興を図る。
- 同政策を受けて、日欧韓の自動車メーカーが、現地組立事業を検討。日産、起亜がそれぞれ Stallion Group (UAE の Dubai ベース) と提携して、自動車の現地組立を開始。2014 年 12 月には VW も同様に Stallion Group との提携による現地組立事業計画を表明した。

#### ◀ケニア▶

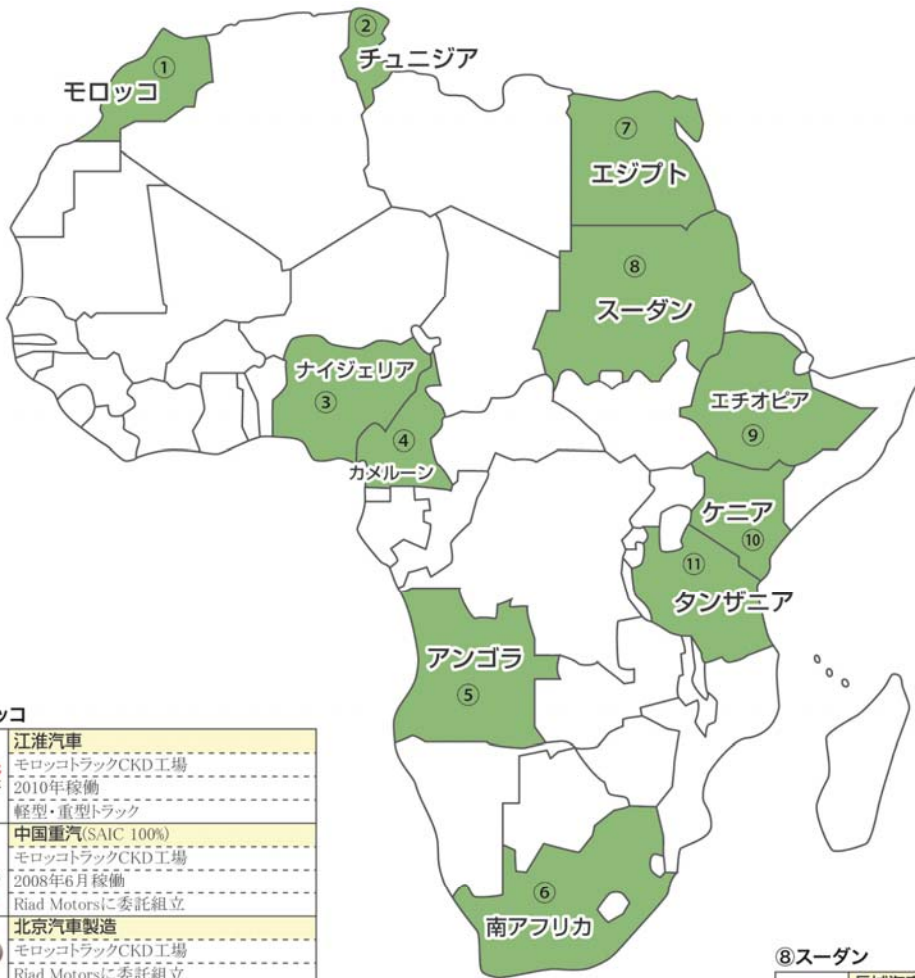
- 現地企業 AVA (Associated Vehicle Assemblers) が海外の複数ブランドの車両 CKD 組立を請け負っている。三菱ふそうのキャンター、トヨタ Land Cruiser、Scania バスなど商用車を中心に、国内市場向け。

#### ◀ジンバブエ▶

- 現地複合企業とマツダとの合弁会社 WMMI がマツダ車 (Mazda 3 と BT-50) の CKD 組立を行っている。国内向けで、生産能力は年 1 万台未満。

(各国統計より FOURIN 作成)

【中国自動車メーカーのアフリカ現地組立拠点】



①モロッコ

	江淮汽車 モロッコトラックCKD工場 2010年稼働 軽型・中型トラック
	中国重汽(SAIC 100%) モロッコトラックCKD工場 2008年6月稼働 Riad Motorsに委託組立
	北京汽車製造 モロッコトラックCKD工場 Riad Motorsに委託組立

②チュニジア

	福田汽車(SOTUFEMに委託生産) チュニジアSKD工場 2013年12月稼働 欧馬可軽型トラック
--	---

③ナイジェリア

	黄海汽車(BMG Autoと合併) ナイジェリアCKD工場 2010年稼働
--	---

④カメルーン

	福田汽車 カメルーントラック・ミニバンCKD工場(5,000台) 2013年7月稼働
--	--

⑤アンゴラ

	華泰汽車 アンゴラSKD工場(5万台)
--	------------------------

⑥南アフリカ

	中国一汽車(中国一汽車60%、南ア企業40%) 南アフリカトラックCKD工場 1999年3月設立
	中国一汽車(中非発展基金と合併) 南アフリカCKD工場(5,000台) 2014年7月稼働
	北京汽車製造(北汽集団51%、IDC、James Chang & Family 49%) 南アフリカ小型バスSKD工場(9,800台)

⑦エジプト

	中国長安(Seoudi Gr.に技術供与) エジプトCKD工場(1万台) 2008年4月調印 悅翔
	江淮汽車(AAVに委託組立) エジプト乗用車CKD工場
	華晨汽車 エジプトCKD工場(1万台) 中華尊馳
	奇瑞汽車(Daewoo Motor Egyptに委託組立) エジプトCKD工場 2005年11月設立 A5、A6、東方之子、瑞虎(3.5万台)
	BYD(現地企業に委託組立) エジプト乗用車CKD工場 2009年12月設立 F3
	中興汽車(Automotive Gateに委託組立) エジプトCKD工場 2005年4月設立、2008年6月稼働
	吉利汽車(GB Autoとの合併) エジプトCKD工場(3万台) 2012年10月稼働 帝豪EC7
	上汽GM五菱 (Egyptian German Automotiveと提携) エジプトCKD工場 2013年6月稼働 荣威750

⑧スーダン

	長城汽車 スーダンCKD工場 2010年設立
--	------------------------------

⑨エチオピア

	力帆汽車(力帆汽車100%) エチオピアCKD第1、2工場(8,000台~1.1万台) 2009年3月設立 力帆520、力帆620
	吉利汽車 エチオピアCKD工場(800台) 2011年6月稼働 自由艦
	中国一汽車(Belayab Car Assemblyに委託組立) エチオピアCKD工場(2,000台) 2011年12月稼働 N5、威樂
	江淮汽車(Holland Carに委託組立) エチオピアSKD工場
	長城汽車(BH Tradingと提携) エチオピアCKD工場 2010年6月稼働 SUV、ピックアップ

⑩ケニア

	福田汽車 東アフリカCKD工場(1万台) 2014年7月稼働 Aumark
--	--

⑪タンザニア

	中国一汽車(Tanzania Jiefang Motorsで組立) タンザニアトラックCKD工場 1992年設立
--	--

注)2014年時点の情報。

(FOURIN 作成)